

よ なか ふしぎ わ
世の中には不思議で分かりづら
いことがたくさんあります。自然、
科学、歴史など、詳しい先生に解き
明かしてもらいましょう。

知りたい好奇心



© 原ゆたか / ポプラ社

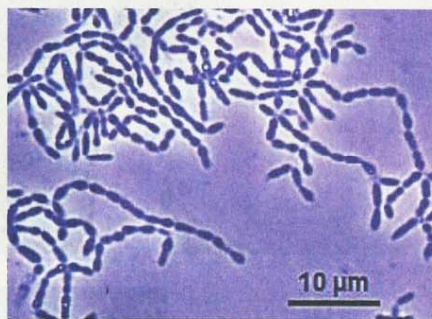
細菌 名前の付け方は？ 形態や性質から命名

突然ですが、問題です！
次の中で実在する細菌の名前はどれでしょう？ ①セカオワン菌②エグザイル菌③カナブーン菌④モモクロ菌
さて正解は…。答えはこの記事の最後に明かすことにして、まずは、細菌の名前について説明したいと思います。

国際ルール

例えば、人の健康に関係する細菌は？ と聞かれると、大腸菌、コレラ菌、ピロリ菌…といった名前が頭に思い浮かんだ人もいるかもしれませんが、でも、これらは日本独自の和名(慣用名)で、世界的に通用するものではありません。なので研究者はあまりこういった名前は使わず(でも、大腸菌は使うかな…)、一般的には属名と種名からなる「学名」を使います。先ほどの例では順にエシエリキア・コリ、ピリオ・コレラ、ヘリコバクター・ピロリとなります。では、こういった学名はどのようにして命名されているのでしょうか。

実は、細菌の名前は「国際細菌命名規約」というルールに沿ってラテン語で命名されています。一般的には、その細菌の形態や性質、分離されたサンプル、地名などをもとにつけられます(実際にはその後、名前とともにその細菌の性状をまとめたものを国際学術雑誌に掲載してもらう必要があります)。



つまり、名前を見れば、その細菌がどんなものか分かるというわけですね。先に書いた三つの細菌だと、エシエリキア・コリは「ドイツ人医師の」エシエリヒさんが大腸から分離した菌、ピリオ・コレラは「水の中を動き回るコレラの原因菌」、ヘリコバクター・ピロリは「胃の幽門(十二指腸につながる部分)にいらっしゃる菌」といった訳になります。

1万5千種

2017年の段階で、学名がつけられている細菌の数は約1万5千種ありますが、その中には変わった名前や面白

カテリバクテリウム・ネクタリフィラムの顕微鏡写真。こん棒状の菌(桿菌)が鎖状につながっているのが分かる。生育する際に他の細菌の培養液(スープレクタール)を必要とすることから種名はネクタリフィラムと名付けられた(筆者が分離、命名した細菌)

い名前が結構あります。例えば、「火星探査機のオデッセイから分離した小さな桿菌」の「パチルス・オデッセイ」や「スープ(ネクター)が大好きな鎖状の小さな桿菌」の「カテリバクテリウム・ネクタリフィラム」(現在はゲンモバクター・ネクタリフィラムに名称変更)といったものです。冒頭の問題の答えもこういった細菌の一つなんですね。

ということで、それではいよいよ答えの発表です。正解は、②のエグザイル菌でした。といってもこれは筆者が勝手につけた慣用名で、学名はカルデイセリウム・エクシレ(英語読みだとエグザイル)といえます。名前の意味は「熱いところ(温泉)にいる細くて絹のような細菌」ということで、とあるポーカーグループとは一切関係ありません(笑)。
(山梨大生命環境学部環境科学科准教授 田中靖浩)



カテリバクテリウム・ネクタリフィラムを2種類の寒天培地で培養した様子。普通の寒天培地(上)だと生育しないが、他の細菌のスープ(下)を入れると元気に生育する